

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	995	課コード	1301	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 委員会事務	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	選挙管理委員会事務局・選挙管理委員会事			
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.35人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	当(初)	7,147千円 (うち人件費 3,080千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 00000	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	事業目的			公正な選挙の執行・管理及び選挙人名簿の調製					
(3) 事業内容	内容	選挙権を保障し、かつ、公正な選挙を執行するため、定期委員会及び必要に応じ臨時委員会を開催し、選挙執行の基本となる選挙人名簿を調製する。また、県議会議員一般選挙及び参議院議員通常選挙並びに市議会議員一般選挙において、選挙時における必要事項の決定を行い、その任務を遂行する。			当該年度執行計画	6月、9月、12月、3月各月の1日に、選挙人名簿への登録・抹消及び調整を行うための委員会を開催する。そのため、事前に新規登録者及び抹消者等の資料を作成する。それ以外の月は、在外選挙人名簿への新規登録者及び抹消者等の調整及び東葛飾地区選挙管理委員会連絡協議会の会長市となることから事務局の運営を行う。また全国市区選挙管理委員会連合会や関東支部、県連合会、市部会の役員市になることから総会などの役員会に出席する。				
				当該年度活動結果指標	選挙の執行・管理及び選挙人名簿の調製等委員会議決案件に対する議決件数	単位	%	想定値	100	実績値
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	住民の選挙権を適正に行使させるため、選挙人名簿等の調製を行なう。また、選挙時における必要事項等の決定を行なう。			直接	選挙の執行、選挙人名簿の調製等委員会議決案件に対する議決件数		%	100	100	
令和2年度	住民の選挙権を適正に行使させるため、選挙人名簿等の調製を行なう。また、選挙時における必要事項等の決定を行なう。			直接	選挙の執行、選挙人名簿の調製等委員会議決案件に対する議決件数		%		100	
令和3年度	住民の選挙権を適正に行使させるため、選挙人名簿等の調製を行なう。また、選挙時における必要事項等の決定を行なう。			直接	選挙の執行、選挙人名簿の調製等委員会議決案件に対する議決件数		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		委員報酬	2,520	委員報酬	2,520	委員報酬	2,520	委員報酬	2,520	
		旅費	134	旅費	29	旅費	30	旅費	30	
		交際費	5	交際費	5	交際費	5	交際費	5	
需用費	104	需用費	275	需用費	116	需用費	116			
委託料	91	委託料	40	委託料	78	委託料	78			
使用料及び賃借料	681	使用料及び賃借料	296	使用料及び賃借料	604	使用料及び賃借料	604			
備品購入費	778	備品購入費	636	備品購入費	836	備品購入費	836			
負担金及び交付金	165	負担金及び交付金	118	負担金及び交付金	88	負担金及び交付金	88			
予算(決算)額	合計		4,478	合計		3,919	合計		4,277	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	10	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源	4,468	3,909	3,885	4,277	4,277				
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.4	0.35	0.35	0	0				
	正職員人件費	3,520	3,080	3,080	0	0				
	嘱託職員報酬額	0	0	0	0	0				
	臨時職員賃金額	0	0	0	0	0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	7,998	6,999	6,965	4,277	4,277					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	79.98千円/%		69.99千円/%		69.65					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討
	委員会は、地方自治法に基づく必置機関であるとともに、国政選挙・地方選挙・その他直接請求等の事務の執行は、公職選挙法により明確化されている。			●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 定例委員会及び各選挙に伴う臨時委員会を開催した。法定事項に関する議案を提出して採択を受けた後、告示等を適切に行った。					○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他					○要 ●不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他			<その他の内容>					
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他								○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境への配慮	配慮の視点			取組む内容		実施した具体的な内容			環境への配慮
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他					該当なし			●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(%)	達成率(%) (b/f×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 定時・定例委員会及び各種選挙における臨時委員会を予定どおり開催し、提出議案に対して採択を受けた後、告示等を適切に行った。	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		事業費の削減対策について	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	1.43	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (e/h)×100	○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下	

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				
	選挙管理委員会は、法令等に基づく執行機関であり、代替組織による選挙の執行は不可能である。委員会においては、選挙執行の基本となる選挙人名簿・在外選挙人名簿・市民投票資格者名簿を定時登録(3・6・9・12月)及び各種選挙における名簿の調整を図った。									

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	996	課コード	1301	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策	■経常	□なし	
1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 選挙啓発活動	選挙啓発活動	実施計画への位置づけ	○有 ●無	②部課名	選挙管理委員会事務局・選挙管理委員会事			
	③事業主体	●市 ○その他 ()	明るい選挙推進協議会活動への支援	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	5人 (換算人数)	0.22人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	2,337千円 (うち人件費 1,936千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	00000	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向				事業目的	啓発活動の在り方及び協議会の活性化への支援				
(3) 事業内容	内容	ボランティア団体である「明るい選挙推進協議会」が主体となり、平時においては選挙の大切さをPR及びお金のかからない選挙の実現に向けた啓発活動を推進し、選挙実施時には投票率の向上に向けた啓発活動を行う。また、平成28年6月より選挙権年齢が18歳以上に引き下げとなったことから市内の大学及び高校と連携し若年層を取り入れていくことで組織の活性化へ向けた事業を行う。			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> 5月：明るい選挙推進協議会総会 8月：あびこカップ祭りでの啓発活動 10月：産業まつりでの啓発活動 県主催による研修等への参加・選挙時における臨時啓発 近隣市町村との交流（若年層との交流） 市内の高校と連携して主権者教育を行う 				
					当該年度活動結果指標	単位	%	想定値	60	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	組織の活性化を図り、啓発活動等主催事業への参加率を向上させる。			直接	会員の啓発活動等の主催事業への参加率	%	60	70		
令和2年度	組織の活性化を図り、啓発活動等主催事業への参加率を向上させる。			直接	会員の啓発活動等の主催事業への参加率	%		75		
令和3年度	組織の活性化を図り、啓発活動等主催事業への参加率を向上させる。			直接	会員の啓発活動等の主催事業への参加率	%		80		
(7) 事業実施上の課題と対応	会員はすべてボランティア活動のため、事業全部に参加することは難しいが、できる限り多くの人が参加できるよう環境を整える。また、構成員の地域構成に偏りがあるため平均化を図るとともに、構成員が高齢化する中、若い世代の加入率の向上を目指す。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		報償費 需用費 負担金及び交付金 市内高校への主権者教育 ・出前講座 ・模擬選挙の実施	105 100 200	報償費 需用費 負担金及び交付金 市内高校への主権者教育 ・出前講座 ・模擬選挙の実施	101 94 200	92 88 200	報償費 需用費 負担金及び交付金 市内高校への主権者教育 ・出前講座 ・模擬選挙の実施	101 200 200	報償費 需用費 負担金及び交付金 市内高校への主権者教育 ・出前講座 ・模擬選挙の実施	101 200 200
		合計	405	合計	395	合計	501	合計	501	
		予算(決算)額		補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源		405		395		380		501	
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.34		0.22		0.22		0	
	正職員人件費		2,992		1,936		1,936		0	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		3,397		2,331		2,316		501	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			56.62千円/%		38.85千円/%		36.19			
2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	本協議会の長年にわたる地道な活動により、不正のない明るい選挙が定着してきている。また、各種選挙時の投票率向上のために貢献し、健全な民主主義の発展に寄与している。今後も更に啓発活動を推進し、若年層の選挙に対する関心を高め、投票率の向上を目指していくために必要である。				<ul style="list-style-type: none"> ●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった 				○要 ●不要	
	<ul style="list-style-type: none"> ○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 				<ul style="list-style-type: none"> □①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ■④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 				○要 ●不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要	
	<ul style="list-style-type: none"> ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 		市内のイベント等において、委員会と共同で啓発活動を実施している。		<ul style="list-style-type: none"> ○①常時啓発は、あびこカップまつりのイベント会場において、啓発品の配布を行い、選挙時啓発においては、白ばら新聞の編集作業を行った。また、街頭啓発により投票の呼びかけを行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 		○要 ●不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要	
	<ul style="list-style-type: none"> □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 		チラシ等は、極力配布しないように努めている。啓発物資については、環境にやさしい物を選定する。		啓発物資については、チラシなど、すぐにゴミとして捨てられてしまうような物は極力避けて、環境に配慮した啓発物資を選定するように努めた。		<ul style="list-style-type: none"> ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった 		○要 ●不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		<ul style="list-style-type: none"> ●①目標値達成 ○②目標値未達成 		
	60	70	<ul style="list-style-type: none"> ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である 		実績値(f)(%)	達成率(%)	<ul style="list-style-type: none"> ○①目標達成 ○②目標未達成 			
					64	91.43	<ul style="list-style-type: none"> <目標を達成した理由/未達成となった原因> 我孫子市の他行事等との日程調整に苦慮する会員が多かったが、調整を図った。 		○要 ●不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について			
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<ul style="list-style-type: none"> ■①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 		実績値(g)(千円)	対事業費(%)	<ul style="list-style-type: none"> ○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 			
	2,331	1,066	<削減の内容>		2,316	99.36	<ul style="list-style-type: none"> ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった 			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<ul style="list-style-type: none"> ○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下 			
	3		<ul style="list-style-type: none"> ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費 		実績値(h)	対目標値(%)	<ul style="list-style-type: none"> <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 			
			単位 費用単位		2.76	92				
			% 10万円							
3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	選挙や政治に関心を向けてもらうには、長い時間をかけて啓発活動を進めていく必要があり、その一端を担う明推協会員には、引き続き地道な啓発活動を行っていただく必要があると考えます。また、選挙権については、平成28年7月の参議院通常選挙から18歳以上に引き下げが実施されたことから、若年層向け選挙啓発としては、選挙管理委員会や明るい選挙推進協議会だけではなく、最近始められた税務署とも連携を図りながら、高校の模擬選挙を進めていく必要があると考えます。									

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	2100	課コード	1301	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	我孫子市議会議員一般選挙		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	選挙管理委員会事務局・選挙管理委員会事		
		個別事業	我孫子市議会議員一般選挙の管理・執行								
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	平成31年度 ~ 平成31年度			⑥担当職員数	5人 (換算人数) 0.66人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	78,419千円		当該(開始)年度	当 初	80,206千円 (うち人件費 5,808千円)		(変更後)	68,093千円 (うち人件費 5,808千円)	
(2) 目的	⑧施策の位置づけ	施策コード	00000	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無			
	⑨施策の目的・展開方向				事業目的	平成31年11月30日の任期満了に伴い執行される我孫子市議会議員一般選挙が公正に行われるよう、法令を遵守し、過誤のない適正な選挙を実施する。					
(3) 事業内容	内 容	任期満了に伴う我孫子市議会議員一般選挙の管理・執行			当該年度執行計画	・4月・・・委員会により選挙期日の決定 ・8月・・・立候補予定者説明会の開催準備 ・9月・・・立候補予定者説明会の開催、投票事務に必要な消耗品・備品類納品 ・10月・・・届出事前審査等 ・11月・・・選挙の実施 ・臨時委員会等を開催し、告示、名簿登録・抹消等の必要事項の決定					
					当該年度活動結果指標	執行計画に基づく適正な管理執行					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指 標		単 位	%	想定値	100
当該年度	公職選挙法に基づき、適正且つ迅速な選挙を執行するとともに、投票率の向上を図る。				直接	選挙事務(投票事務)における適正な管理執行		%		(5) 現況値	100
令和2年度					-					(6) 目標値	0
令和3年度					-						0
(7) 事業実施上の課題と対応	投票管理者・同職務代理者、事務従事者等の人員の確保が難しくなっている。投票管理者等には、職員OB、事務従事者には大学生等を積極的に任用する。また、投票率においては、明推協と連携し啓発を行い投票率の向上を目指す。				代替案検討	○有 ●無					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価		事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	我孫子市議会議員の任期が平成31年11月30日において満了となるため。		●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 任期満了による我孫子市議会議員選挙を令和元年11月17日に執行した。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他	<その他の内容>	□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>			
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		改善検討
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		改善検討
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 適正な管理・執行を行った。
					100	100	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		改善検討
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>
	68,093	△68,093			66,980	98.37	<超過理由等>
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		改善検討
	0.15		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
					0.15	100	

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ●その他(事業完了など)

評価	執行管理計画に基づいて業務を遂行した。	評価コメント	4年後に実施予定。	改善案及び展開方向
----	---------------------	--------	-----------	-----------

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2155), 課コード (1301), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2232), 課コード (1301), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 2019, 2020, and 2021.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes current status (ongoing) and future plans (implementation in 4 years).